

# 情報セキュリティにおける脅威の 動向とその対策の展望



コーディネータ  
東京電機大学教授  
佐々木良一  
sasaki@im.dendai.ac.jp



# セキュリティへの脅威の動向

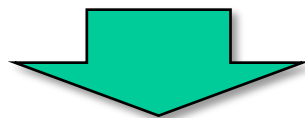
## 1. 攻撃の高度化

Gumbler

Stuxnet 他

2. 内部犯罪による情報の漏えいの増加

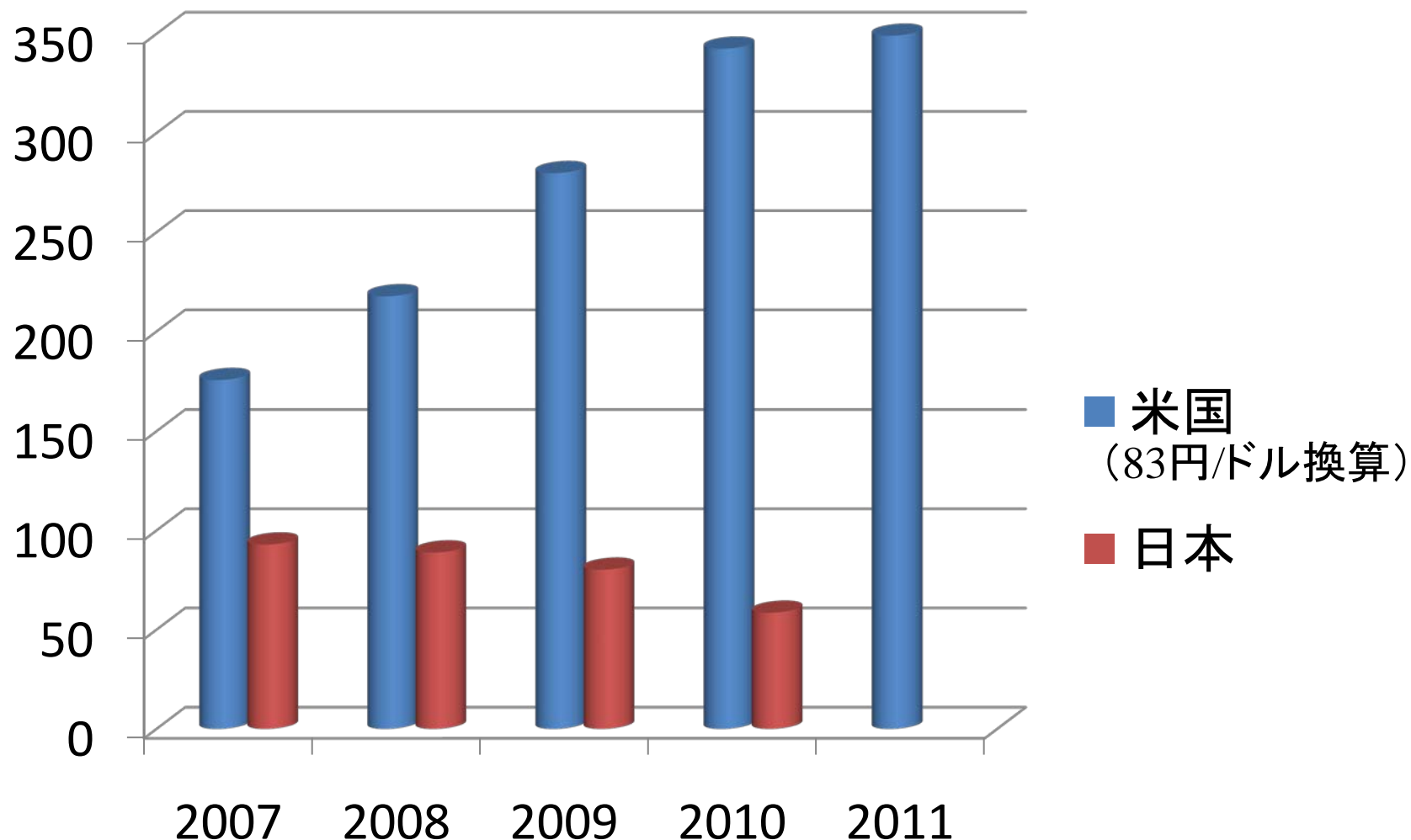
3. 証拠データの改ざん事件 など



セキュリティ対策の高度化がますます必要に

# 情報セキュリティR&D予算の推移

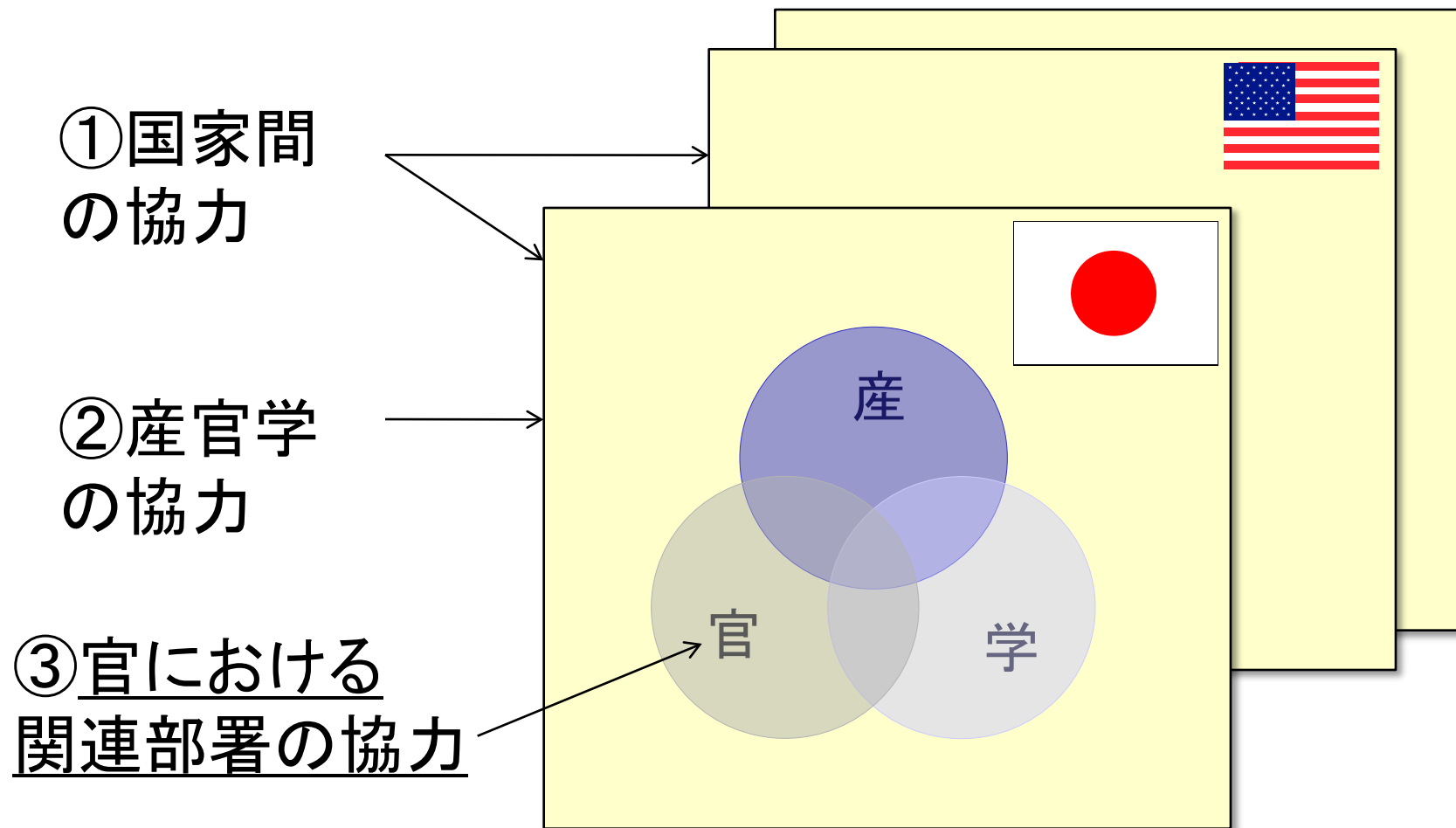
億円



(米国のデータの出典) <http://www.nitrd.gov/pubs/bluebooks/index.aspx>

(日本のデータの出典) 総合科学技術会議 平成21年度フォローアップ(分野別推進戦略)調査票をもとにNISCで集計

# 各種協力の必要性



# 情報セキュリティに係る公的機関との 協力覚書の締結について

## 概要

- 国内の技術的・専門的な知識や経験を活用するため、関連する公的機関との間で協力覚書を締結
- 関連する公的機関が得た情報セキュリティの脆弱性等に関連する情報のうち、政府機関においても必要と考えられるものを当センターと共有
- 政府全体への脆弱性等に関連する情報のより迅速かつ具体的な情報提供を実現し、一層の情報セキュリティ対策の向上を図る

## 協力覚書の内容

(相手方)

- ◇(独)情報通信研究機構(NICT) <9月 3日>
- ◇(独)産業技術総合研究所(AIST) <9月10日>
- ◇(独)情報処理推進機構(IPA) <9月 3日>

(内容)

- 各独立行政法人が得た以下の情報についてNISCへの情報提供を行う。  
通信やアプリケーション等で利用されている暗号の危殆化に係る情報  
ウェブサイト等における脆弱性に係る情報 等
- 必要に応じ、各独立行政法人と政府機関との間における情報交換の場を設ける。

## 今後の取組

- これまで関連する公的機関に蓄積されていた情報セキュリティに関連する情報を活用することで、政府機関に対して脆弱性等に関連する情報のより迅速かつ具体的な周知・注意喚起が可能
- 今後、こうした取組みを通して、政府機関全体における一層の情報セキュリティ対策の向上を図る

# パネル参加者

---

## (独)情報通信研究機構(NICT)

高橋幸雄 (情報通信セキュリティ研究センター長)

井上大介 (総合企画部 プランニングマネージャー)

## (独)産業技術総合研究所(AIST)

渡辺 創 (情報セキュリティ研究センター副研究センター長)

高木 浩光 (ソフトウェアセキュリティ研究チーム主任研究員)

## (独)情報処理推進機構(IPA)

矢島 秀浩 (セキュリティセンター長)

小林 偉昭 (情報セキュリティ技術ラボラトリー長)



# ITリスクに関する今後の方向

